

平成 28 年度 大阪府立福井高等学校 第 2 回学校協議会 議事録

日時 平成 28 年 12 月 6 日 (火) 15:00~16:30

場所 本校 校長室

1 校長あいさつ

2 会長あいさつ

3 事務局より報告及び委員からの意見・提言等

①生徒指導部「生徒の状況について」

- ・朝の挨拶運動を毎日行っている。9月27日に2回目の茨木警察との合同自転車交通安全指導を、10月31日~11月2日にPTAと生徒指導部の合同下校指導を行った。
- ・遅刻指導に継続して取り組んでいく。頭髪状況は比較的落ち着いている。

②部活動加入状況

- ・部活動の加入率が減少傾向にある。原因として、先輩後輩の関係の変化など人間関係をつないでいくことに課題があるのではないかと考えられる。
⇒ 福井小学校の夏祭りでダンス部が頑張っていた。生徒を小学校から知っている立場から見ると、打ち込めることが見つかってよかったと感じる。学校での居場所という視点からも部活動には入ってほしい。文化部が学校内で発表する機会を増やしてはどうか？

③3年生進路希望及び決定状況

- ・現時点で6割強が決定している。大学進学が例年より多い。

④人権保健部「今年度の取り組み」

- ・1年生は「携帯・スマホ、多文化共生、性教育」、2年生は「多文化共生」、3年生は「就職差別、部落問題」のHRを行った。また、職員人権研修を2回、事例検討会を3回行った。
⇒ 人権教育でコミュニケーション能力が磨かれているのが素晴らしい。
- ・配慮を要する生徒に対しては、担当が常に注視して情報を収集し、組織的に対応している。

⑤多文化共生プロジェクトより

- ・文化祭で竜の踊りを踊ったり、校外での活動も積極的に行った。生徒によっては、個別の課題があり、登校できていない生徒もいる。今後は進路保障が課題になってくる。

⑥広報活動中間報告

- ・6月と9月に全教員で中学校訪問を行った。出前授業も4校で行った。8月と10月にオープンスクール、12月に学校説明会を行ったが、参加者数は前年度と比べ減っている。
⇒魅力ある高校として、時間はかかるが、さらなる特色づくりが必要かもしれない。

⑦総合学科推進会議中間報告

- ・「ドリカム」の教員研修を行った。また、来年度の「ドリカムテイクオフ」に向け、教員体制やテーマ設定の検討を行った。11月14日のリサーチデーで生徒は様々な体験をした。12月18日の「大阪府高等学校総合学科研究大会」では1年生の2班が代表として発表予定。
⇒ 「ドリカム」で論理的な文章を書く過程における学びは大きいであろう。

⑧Yプロ中間報告

- ・経験の少ない教員に対し、校内研修、校外授業見学と交流、研究授業を行っている。
⇒ 新任の担当が増えていく中、会議では丁寧に説明するよう心がける必要がある。併せて、報告、連絡、相談の意識づけも重要である。

次回予定 平成 29 年 3 月 21 日 (火) 15:00~ [校長室]